

生涯学習の分野ではさまざまな体験型の事業を行っています

ペーパープレインを作って飛ばそう！

生涯学習センターでは、シニアを対象にした講座が多数開かれています。生涯学習スポーツ課では、もっと幅広い世代の方に参加していただこうと、平成29年3月28日(火)に子供向けの講座「ペーパープレインを作って飛ばそう」をアミューホールで開催しました。「ペーパープレイン」とは折り紙で作る紙ひこうきとは違い、はさみやのりを使いながら簡単な工程で飛距離を伸ばすことのできる紙ひこうきのことを言います。今回は多摩六都科学館の職員とボランティアの方々にご協力いただきました。講師のマンツーマンによる指導のもと、みんな夢中になって取組み、作成後の飛行では、広い会場をゆうゆうと飛ぶペーパープレインを見て、参加者は大いに盛り上がりました。今回の講座を皮切りにシニア向けの講座に引き続き力を入れながら、幅広い世代の方に参加していただけるような講座も充実させていきたいと考えていますので、ぜひご参加ください。



大変盛り上がった飛行

※詳しくは生涯学習スポーツ課生涯学習係まで ☎495-7001

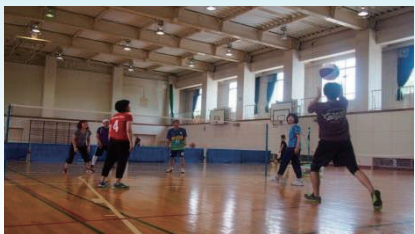
誰でもできる！ニュースポーツ体験開催

清瀬市スポーツ推進委員会では、誰でも楽しめるニュースポーツが体験できるイベントを年に2回開催しています。ニュースポーツは、「フラバールバレー」や「ポートドッチビー」等の子供から大人まで、誰でも簡単にできるスポーツです。

今回は、7月9日(日)にコミュニティプラザひまわり屋内ひろばで行いました。当日は家族や個人での参加があり、スポーツ推進委員と一緒に、さまざまな種目を体験しました。なかでも、ポートボールに似た競技のポートドッチビーはとても盛り上がりました。(写真中)

清瀬市では、ニュースポーツの普及に取り組んでおり、道具の貸出しも行っています。ぜひ、ご利用ください。

次回は12月10日(日)に開催を予定しています。このイベントは、健幸ポイント対象の事業にもなっていますので、たくさん運動し、ポイントもためましょう。



ビーチボールバレー



ボールの代わりにフリスビーを使う
ポートドッチビー



変則な動きをするボールを使う
フラバールバレー

※詳しくは生涯学習スポーツ課生涯スポーツ係まで ☎495-7001

「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」の利用を開始しました！

国立国会図書館では資料の保存とインターネットがつながる環境があれば、どこでも来館者と同様のサービスが受けられるように、平成13年から所蔵資料のデジタル化を進めてきました。

平成26年1月から、このデジタル化した資料のうち絶版等の理由で入手が困難な資料を、全国の公共図書館や大学図書館等の館内で利用できる「国会図書館デジタル化資料送信サービス」を開始しています。今年7月1からは、中央図書館の2階読書室に設置した専用のパソコンでもこのサービスをご利用いただけるようになりました。

このパソコンで「むらさき そう紫草 え ど しょうひょうしゅう江戸商標集」(岡田村雄編/出版者不明/1916年)や「むらさき しき ぶ紫式部 にっ き え まき日記絵巻」(風俗絵巻図画刊行会/1917年)等の貴重な資料や、「七人の刑事」(TBS 地上波で1958年～69年放送された刑事ドラマ)の脚本等、約150万点の資料の閲覧ができるほか、著作権法の範囲内で複写サービスも行っており、清瀬市の図書館で利用登録されている方でしたら、どなたでもご利用いただけます。



「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」対象資料(平成29年1月時点)

資料種別	概要	資料数
図書	昭和43年までに受け入れた図書、震災・災害関係資料の一部	約55万点
古典籍	明治期以降の貴重書等や清代後期以降の漢籍等	約2万点
雑誌	明治期以降に発行された雑誌(刊行後5年以上経過したもので、商業出版されていないもの)	約1万タイトル 約80万点
博士論文	平成3～12年度に送付を受けた論文(商業出版されていないもの)	約12万点
脚本	日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムから寄贈された昭和55年以前の放送脚本(テレビ・ラジオ番組の脚本・台本)の一部	32点

国立国会図書館って？

昭和23年「国立国会図書館法」の制定に伴い設立された図書館(東京本館:東京都千代田区永田町1丁目10-1)です。個人に対する資料の館外貸出は行っておらず、来館による資料の閲覧や有料で複写などのサービスを受けることができます。また、国内の公共図書館、大学図書館、専門図書館への貸出などを行っています。ちなみに我が国では納本制度により、国内で刊行される全ての出版物(漫画や雑誌、CD等含)は国立国会図書館に納入することが義務付けられています。

図書館職員によるおすすめ図書

伝説の生き物

近藤 雅樹(監修)
PHP研究所



世界各国の神話や伝承に出てくるドラゴンやユニコーン、ヤマタノオロチなどの神獣・怪物。それら伝説の生き物は、どこに住んでいて、どんな能力を持っているのか？ファンタジーの世界がリアルなイラストで紹介されています。(中央図書館所蔵)

世界を変えた10人の女性

池上 彰／著 文春文庫



ミャンマーの政治家・アウンサンソーチーさんや元国連難民高等弁務官・緒方貞子さんなど、「世界を変えた10人の女性」を取り上げています。まだ女性が軽視されていた時代に力強く活動したり、祖国のために貢献したりと、彼女たちから幅広く学ぶことができます。(竹丘図書館所蔵)

作家と楽しむ古典

池澤 夏樹／著(他)
河出書房新社



古事記や竹取物語、百人一首などの古典を文学として楽しむために、作家たちが新たに現代語訳をつけて連続古典講義が開かれました。作家ならではの視点や作品の魅力、訳をつけるときの工夫などが語られています。(駅前図書館所蔵)

※詳しくは中央図書館まで ☎493-4326

清瀬のソウルフード「うどん」の誕生に迫る

郷土博物館では、昭和60年の開館以来、30年以上に渡り市民の方々を対象に手打ちうどん作り体験を実施しており、これまでに約1,300人の方が参加しています。

この手打ちうどん作りは、清瀬の伝承文化であると同時に、その背景には清瀬の農作物と歴史が深く関わっています。ここでは、清瀬の手打ちうどんのルーツをひもといていきましょう。

清瀬の農作物とその歴史

市内の農作物は、低地で水はけが良かった現在の下宿・中里・野塩の柳瀬川に接する地域の水田で作られていました。水田は昭和30～40年代までこの地域に残っており、本膳（結婚式、葬式などの人が集まる時の食事）は米でした。

一方、清瀬駅付近は、昭和の初めまで雑木林でしたが、それ以外の地域では、大麦・小麦・キビ・大豆などを栽培していました。つまり、今の市内の大半が畑作地帯だったのです。ただし、麦などの農作物の収穫量が乏しく、江戸時代の終わりごろの文化13年（1816年）、安政5年（1822年）に大飢饉が起こったことが古い記録に残っています。



明治時代初め頃の清瀬市内の農作物地図

清瀬の手打ちうどんの誕生はいつ？

清瀬の手打ちうどんは、江戸時代の終わり頃に誕生したと言われています。

同じ頃、柳瀬川に水車が数多く作られ、この水車を使用した製粉技術の発達も大きな影響を与えたと考えられます。手打ちうどんの風習は現在まで続き、地域の集まりなどでは男性が打ち、春・秋・お盆などのおもてなしをする時は女性が打ちました。他の地域から清瀬に嫁いでくるお嫁さんは、うどんが打てることが条件ともいわれるほどでした。

また、清瀬の手打ちうどんには、必ず「かて」（おかずのこと）が付きます。基本的に自分の畑で収穫したホウレン草・人参などの野菜を茹でたものと刻んだネギがついていました。清瀬のソウルフード「うどん」の歴史は古く、奥深いものです。



家庭でも作れる手打ちうどん

材料（目安）（2～3人前）

- ・うどん用の粉 ……500g
- ・塩 ……20g
- ・水 ……220～250cc
- ・打ち粉（上新粉又はコンスターチ）…適量

1、まぜる・まとめる

- ・水に塩を入れ、塩水を作る。
- ・こね鉢に粉を入れる。
- ・塩水を2回から3回に分けながら粉とまぜる。
- ・手のひらでこするようにしてほぐす。
- ・全体が均一にそば状になったらまとめる。

2、ふむ・ねかす

- ・まとめた生地を米袋に入れて踏む。
- ※米袋に付きやすいのでうどん用の粉を振ってから踏むとよい
- ・平たくなったら袋から取り出してまるくまとめる。
- これを5回以上繰り返し最後に生地をまるくまとめて袋に入れ、30分から1時間ねかせる。
- ※ねかせるほど後の作業がしやすい。

3、生地を伸（の）す・たたむ

- ・のし棒で押して、ある程度平たくする。
- ・のし棒に生地を巻きつけ、同じところに手置くと生地の厚さにむらができてやぶけやすいので、手の置き場所をかえながら均一に伸していく。
- ・打ち粉をしながら、包丁で切りやすい幅で生地をびょうぶのようにたたむ。

4、切る

- ・3mmから5mmくらい。
- ※茹でるとふくらむのであまり太くならないように。

5、茹でる

- ・たっぷりのお湯で、うどんが対流するだけのうどんを入れ、茹でる。
- ※茹であがりは、火力、麺の太さなどによって変わります。目安は6～8分くらいから味見をはじめ、芯が残っていなければ茹であがります。

6、しめる

- ・茹であがったうどんをざるにとり、2～3回水を替え、ぬめりを取り、しめる。



- ・手間をかけたらかけた分だけおいしくなります。
- ・麺を切ったら早めに茹で、茹であがったら早めに食べるとおいしくいただけます。
- ・うどんのつゆは、お好みのものを使って下さい。

手打ちうどんで郷土の歴史を学んでみませんか？



郷土博物館では年1回、古くから清瀬に伝わる作り方で作る「手打ちうどん」作り講習会を開催しています。今年度は6月に開催して大盛況でした。

親子で郷土料理を学ぶ事業を開催する際にもうどん作りを行うことがありますので是非皆様のご参加をお待ちしています。



※詳しくは郷土博物館事業係まで ☎493-8585

地域の力を学校に生かす仕組みづくりの推進 「学校支援本部」

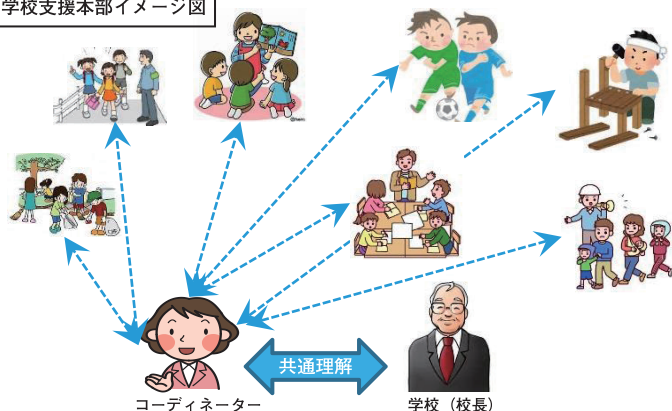
学校支援本部とは？

学校支援本部とは、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子供を育てていこうというものです。

地域コーディネーターが中心となり、土曜授業や見守りパトロールなどに協力してくれるボランティアの方を発掘し、支援したい人と学校をマッチングさせ、さまざまな活動に取り組んでいます。

平成27年度に清瀬第三小学校で立ち上がり、平成29年度に新たに清瀬小学校でも立ち上がりました。

学校支援本部イメージ図



コーディネーターの役割

- ①地域資源の発掘と学校への誘い ②学校との共通理解による子供や地域のための事業の企画・調整役 ③子供の教育や学校運営にかかわる支援組織のとりまとめ役 ④学校と地域との橋渡し役

清瀬第三小学校でサマースクールが開催されました(7月24日(月)～25日(火))

清瀬第三小学校支援本部主催のもと、今年度で2回目となるサマースクールが開催されました。

参加した子供たちは、ペーパークラフト体験、プログラミング体験、木工体験等を行い、夏休み期間中に普段の授業では学ぶことのできない体験的な学習を行いました。また、体験を通して、講師や地域のボランティアの方との交流も深まりました。



プログラミング体験の様子



木工体験の様子

～あなたのチカラを地域に～ 地域コーディネーターを紹介します

齊藤しのぶさん（※統括コーディネーター、清瀬第三小学校支援本部）

池田 泉さん（清瀬小学校支援本部）

諸川 幸子さん（清瀬小学校支援本部）

現在、上記の2校で学校支援本部の活動を行っています。

・学校・子供たちのために力になりたい

・ボランティア活動をしてみたい

少しでも興味のある方は、当该校、または、教育総務課庶務係へご連絡ください。コーディネーターをご紹介します。

※統括コーディネーター：各校の学校支援本部への助言や未設置校への支援の役割を担っています。

新教育委員の紹介



兵頭扶美枝 委員

先日、初めて担任した時の教え子 A さんと 39 年ぶりに会いました。A さんも今では高校生の子供をもつお母さん。二人で当時のことを思い出しては話が弾みました。その中で A さんは「学校を休みがちだった同級生の家に、毎朝寝ているのを起こしに行っていた」と言うのです。その女の子は一番気がかりな子供でしたが、A さんが陰で支えてくれていたことを知り、胸が熱くなりました。時に子供の思いやりの深さは大人の想像を超えますね。

この度、教育委員として清瀬の教育に関わることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

稲田瑞穂委員の任期満了にともない、平成 29 年 4 月 16 日より、元清瀬第三小学校校長の兵頭扶美枝氏が清瀬市教育委員に就任されました。

任期は平成 33 年 4 月 15 日までです。

教育委員会の動き

平成29年3月から平成29年8月までの審議状況をお知らせします。この間に定例会を6回開催しました。審議された議案は下記のとおりです。

- 清瀬市立小学校教科用図書採択要綱の制定について
- 清瀬市立小・中学校特別支援学級教科用図書採択要綱の一部改正について
- 清瀬市就学援助費支給要綱の制定について
- 清瀬市特別支援教育就学奨励費支給要綱の制定について
- 清瀬市教育と医療の連携協議会設置要綱の制定について
- 清瀬市スポーツ推進委員の選任について
- 事務の臨時代理の承認について
- 清瀬市社会教育委員の選任について
- 清瀬市立学校職員服務規程の一部改正について
- 学校徴収金取扱マニュアル策定委員会設置要綱の制定について
- 清瀬市通学路安全対策推進協議会設置及び運営に関する要綱の制定について
- 清瀬市立小学校教科用図書(道徳科)の採択について
- 清瀬市立小・中学校特別支援学級用教科用図書の採択について
- 清瀬市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
- 第2次清瀬市教育総合計画検討委員会設置要綱の廃止について

※詳しくは教育総務課庶務係まで ☎497-2537

清瀬市立学校での食育の取組

清瀬市立学校では、各小・中学校で「食育」についてさまざまな取組みを行っています。今回は、昨年度清瀬第三中学校で行われた取組みを紹介します。

清瀬第三中学校では、2020年東京オリンピック・パラリンピック教育の一環として、自国文化の理解を深めるため、食事のマナーについて学びました。日本人が和食を食べている姿を見て、来日した外国人に美しいと思っていただけるよう、日々の食生活で実践することを目的としたものです。

箸(はし)1(ワン)グランプリ2016

美しい箸使いは、食べているものまで美味しそうに見えます。正しい箸使いを目指して、1クラスずつ朝学活の時間に豆移しを行い、各クラスの優秀者を表彰しました。

小さくてつかみづらい大豆を相手に悪戦苦闘しながらも真剣に取り組みました。



(豆を相手に苦戦する生徒の様子)

自分の食事マナーの見直し

冬休み期間中、お箸の持ち方や食器の置き方、食べ方等、自身の食事のマナーを点数化し、振り返りました。

作品展・展示発表

健康安全委員会で作成した、食事のマナーに関するクイズ等を活用し、食生活とマナーのつながりを理解しました。

食育講話

『知っているようで知らない食事のマナー』と題し、健康安全委員会が食器の配置や箸使いのマナーなど基本的な食事のマナーについて発表を行いました。



このような取組み後、清瀬第三中学校では、事前・事後で同じ内容のアンケートを全校生徒対象に行いました。その結果、食器の正しい配置や箸使いのマナーの正答率が増えました。また、「いただきます」や「ごちそうさま」の食事の挨拶についてもしっかり行う生徒が増えました。

学校給食調理員 衛生講習研修



7月24日(月)、市内学校給食調理員を対象とした衛生の研修を実施し125名が参加しました。

多摩小平保健所からは、年に1度行っている各学校の給食室立ち入り検査の講評と、衛生については、(社)日本パン技術研究所フードセーフティ部の方から、異物混入を防ぐ方法や調理器具の清掃について講話をいただきました。

食育展

11月19日(日)コミュニティプラザひまわりにて実施予定。

市内の小中学校で食べられている給食を提供します。また各学校の食育の取組の様子を展示します。



※詳しくは教育総務課学務係まで ☎497-2539

記事の訂正

平成29年3月1日発行 50号教育委員会だより4・5ページに掲載の指導課の電話番号に誤りがございました。

(誤) 497-2522 (正) 497-2552

皆様にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。



◆本紙の音声版をウェブサイトで配信しています。また、秘書広報課で音声版を収録したCDを貸出しています。

編集・発行

清瀬市教育委員会

電話 042-492-5111 (代表) FAX 042-495-3940

ウェブサイトURI <http://www.kiyose.ed.jp/>

教育委員会だより きよせ

検索

本紙へのご意見・ご感想をお寄せください。